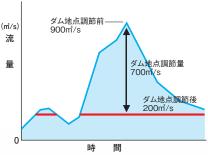
太石ダムの管理

大石ダムは洪水調節と発電を行うことを目的とする多目的ダムで、昭和53年に完成しました。発電は、大石発電所において、最大使用水量15.0m³/sで、最大出力10.900KWの発電を行っています。

■ダム諸元

■洪水調節図 ■







防災操作(洪水調節)の仕組み

洪水調節は、ダム地点における計画洪水流量 900m³/sのうち、700m³/sを調整し、200m³/s を流下させ、下流域の洪水防御を図ります。

災害が発生するような大雨が予想されるときは、 あらかじめダム水位を下げる「事前放流」をします。

ダムに 貯める量 700㎡/s ダムに流れ 込んでくる量 900㎡/s



大石ダムの資料室 大石ダムインフォメーションハウス

大石ダムインフォメーションハウスは平成元年にオープンしました。 大石ダムの情報・役割を知ってもらう為にパネルやダム周辺の模型などが設置されています。



村上市荒川地域



ダム水源地域ビジョン

大石ダムでは平成16年度にダムを活用した水源地域の自立的・持続的な活性化とバランスのとれた流域の発展を目的とした「大石ダム水源地域ビジョン」を策定しました。





里山ハイキング

おおいし・どもんご祭り

大石ダムHP





